

## バッテリーセパレータの生産設備増設について

三菱製紙株式会社は、主にバッテリーセパレータの増産のために、高砂工場に湿式不織布生産設備を増設します。営業運転開始は2022年4月の予定です。

現在バッテリーセパレータは、高砂工場の1台の湿式不織布抄紙機で生産しておりますが、この抄紙機ではバッテリーセパレータの他にRO膜(※1)等の水処理膜用基材の生産も行っており、水処理膜用基材向けの需要拡大に伴い当該抄紙機の生産能力の不足が課題になってきています。

一方、当社バッテリーセパレータも、日本、中国、韓国などを中心に需要が拡大しています。具体的には、特に昨年のコロナ感染の世界的拡大によりリモートワークを始めとするネットワークインフラ需要が旺盛となっており、加えて、自然エネルギー関連設備、自動車の電装化及び電動化等の影響で、当社のセパレータを使用しているEDLC(電気二重層キャパシタ※2)や固体コンデンサの需要も拡大し、その拡大傾向は今後も継続するとみられています。

さらに、産業車両用に使用されるリチウムイオン電池用セパレータなど、長寿命と安全性が求められるリチウムイオン電池で使用されている不織布セパレータや、このリチウムイオン電池用セパレータの基材を利用した薄膜電磁波シールド用基材に関しても、需要の拡大を見込んでいます。

このような状況に鑑み、既存の湿式不織布生産設備を主に水処理膜用基材の生産に使用し、新たに増設する湿式不織布生産設備をより薄く高精度が求められるバッテリーセパレータ等の薄型不織布の生産に特化させることといたしました。これにより、それぞれの製品群での生産性の向上と品質安定化を図り、今後の需要拡大に対応して参ります。

### 【新設備の概要】

1. 生産品目 : バッテリーセパレータ
2. 設置場所 : 三菱製紙株式会社 高砂工場(兵庫県高砂市)
3. 設備投資金額 : 約18億円
4. 営業運転開始 : 2022年4月(予定)

### 【用語解説】

※RO膜(逆浸透膜): ろ過膜の一種であり、水を通しイオンや塩類など水以外の不純物は透過しない性質を持つ膜のこと。

※EDLC(電気二重層キャパシタ): コンデンサに分類される蓄電デバイス。二次電池よりはエネルギー密度は小さいが、大電流による急速充放電や長寿命などが特徴。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

機能商品事業部 特殊資材商品部長 竹内 常括 電話 03-5600-1471